



池戸一成 後援会 会報

しぶがき通信

新年合併号

発行日：平成 29 年 12 月

発行者：池戸一成後援会事務所

各務原市蘇原柿沢町 1-15

TEL：371-2749

H P：http://ikedo.info/

消費税



消費税と社会保障の財源の話

国の社会保障改革では、高齢化への対応はもちろん、私たちの子ども・孫の世代や現役世代へのサポートを充実させた『全世代対応型』の社会保障となりました。国全体では、社会保障に必要な費用の主な財源を消費税で賄うことにしていますが、本市はどのような形で、どのくらいの金額を社会保障に充てているのでしょうか。

本市が一般会計の中で行う社会保障 4 経費（年金・医療・介護・子育て）に必要な経費は 173 億円です。国から本市には、地方消費税として約 24 億円が入ってきますが、このうち社会保障に充てる決まりになっているのは約 10 億円です。それ以外に国や県からの社会保障のための財源の約 78 億円と、市民が支払う負担金などの約 9 億円を充てますが、不足分の約 86 億円は市の一般財源で賄っています。さらにこの一般財源の中には、消費税の財源を含んだ国からの交付金なども含まれています。

複雑な説明になりましたが、みなさんは社会保障の維持のための消費税増税をどう考えますか？

元気なおじいちゃん、おばあちゃんが増えることが大切

H28 年度の本市の 75 歳以上の方の医療費の総額は約 159 億円で、人数が 788 人増えたことにより 5 億円ほど増えています。しかしながら、一人あたりの医療費は 90 万円弱となり、前年度に比べ 1 万円ほど減少しました。

今後しばらくは高齢者人口が増加することは避けられないので、一人あたりの医療費削減に結びつくよう、元気な高齢者が増えるための政策が肝要です。



ライフデザインセンターでの活動は素晴らしい！

市内のライフデザインセンターで様々な講座（長期・短期あわせて 375 講座 7 千人以上参加）が開かれています。その他クラブ・サークル活動なども含めると、7,760 団体 17 万人弱の利用者がいらっしやいます。訪問して、皆さんのいきいきした表情を拝見すると、ライフデザインセンターに限らず、地域の公民館などで行われるこのような活動を充実・拡大させることが、元気で安心・安全なまちづくりに大切なことだとあらためて思います。

部活にかけられる費用

市内中学校の部活動の状況は、運動系が 82 部 2,911 人、文科系が 19 部 792 人で、入部率 88.57%です。（H28 年 5 月現在）

H28 年度は東海大会出場が 298 人、全国大会出場が 16 人でした。

H28 年度に市が部活動環境の充実のため使われた運営費は 1,258 万円でしたが、単純に部員一人あたり 3,400 円ほど・・・少ない気がします。



毎回講師をお招きして「へ～知らなかった。」「教えてもらってよかった。」を集めた勉強会『一七塾』（いちななじゅく）をはじめました。

- 開催日：毎月 17 日 19:30～
- 場所：池戸一成後援会事務所

※都合により休講もありますので、事前にお問合せください。（お電話 371-2749）

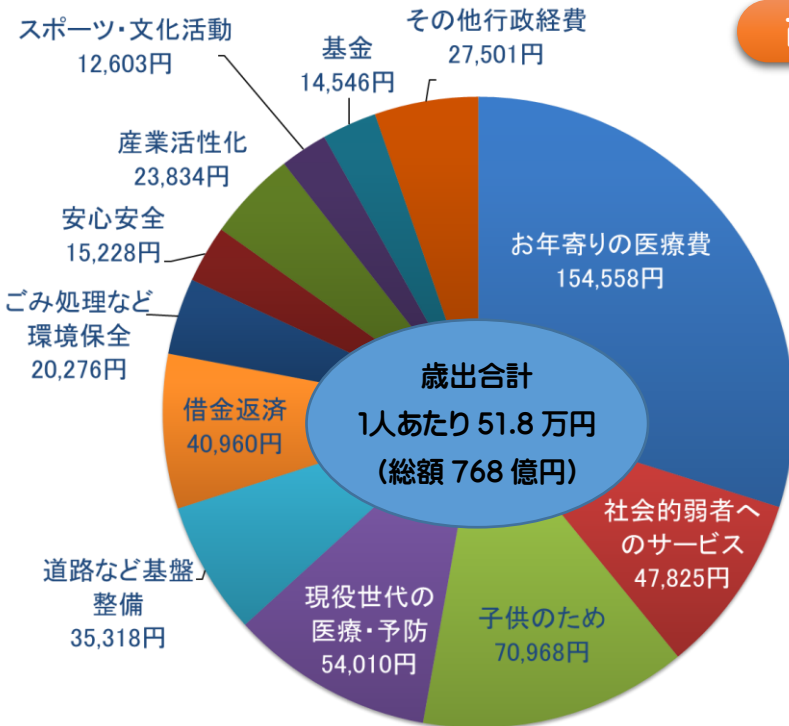


市民サービスは1人あたり46.2万円

市には一般会計の他に特別会計(国保会計や介護保険など)がありますが、その合計総額は768億円(市民1人あたり51.8万円)で、このうち、借金返済と貯金した費用を差し引いた額、つまり市民サービスに充てられた金額は686億円(市民1人あたりの平均は46.2万円)となり、昨年度より市民1人あたり1.8万円ほど増えました。(私の計算によるもの)

市のお金が「誰のため」「何のため」に使われたかを表したものが左のグラフです。

医療にかかる費用が大きいです、それ以外では市民1人あたり保育所運営1.6万円、児童手当1.6万円、ごみ処理費など1.4万円、航空宇宙博物館リニューアル1.1万円、中学校冷暖房設備1.1万円、生活保護9千円などがあります。



※金額は市民1人あたりに換算してあります。

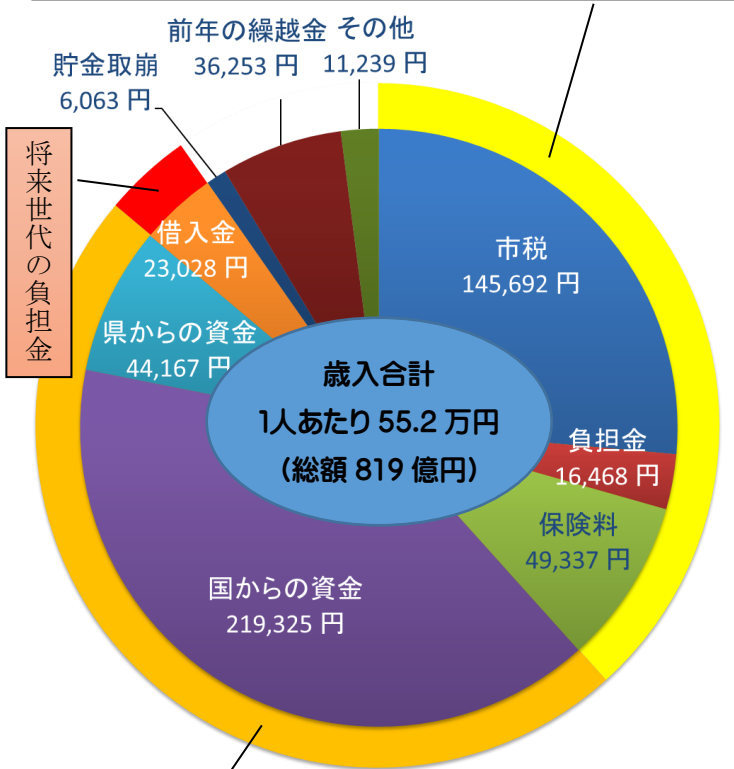
市民負担は1人あたり49.8万円

市民1人に充てられたサービスの金額が46.2万円であったのに対し、市民(国民)負担は、**1人あたり49.8万円**(総額739億円)となりました。内訳は、市税や保険料など21.1万円、国や県の負担26.3万円、将来世代の負担(借金)2.3万円です。

今回の決算では、個人所得や企業の設備投資による税額の増加と、航空宇宙博物館のための県からの財源が増加し、税収は増加しています。

しかしながら、半分近くは『国からの財源』で運営しているわけで、この中には赤字国債(これは将来世代が負担する財源です)による財源が含まれていることを忘れてはいけません。そして国は、財政再建を進めながら、いわゆる『地方創生』という政策により地方に回す財源の出し方を変えてきました。国の動向に合わせ、各務原市は引き続きの財政健全化を堅持しながらも、住民のみならず、積極的に国からも『選ばれし都市』を目指していくことを両立できる地方自治体を目指さなくてはなりません。

市民や市内事業所などから市に直接入る税や保険料、負担金などは市民1人あたり21.1万円(総額314億円)



※金額は市民1人あたりに換算してあります。

国・県などから財源は市民1人あたり26.3万円(総額391億円)

《新年互礼会のご案内》

◎ 平成30年1月7日(日)13時~16時(いつご参加いただいても結構です)

◎ 池戸一成後援会事務所 ◎ 会費100円

お問合せ先は、371-2749(後援会事務所)まで

